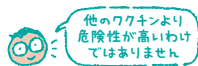


HPV ヒトパピローウイルス ワクチンの接種 を



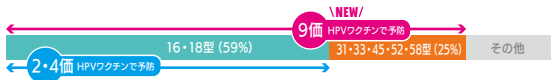
HPVワクチンは、他のワクチンと比べて特別に重い副反応を起こしやすいわけではなく、厚生労働省もWHOもHPVワクチンの安全性を担保しています。



2023年4月より、「**9価HPVワクチン**」という新しいワクチンが日本でも無料で接種が可能になりました。このワクチンは、既に世界80か国以上の国と地域で承認されています。9価HPVワクチンは、子宮頸がんの原因となるHPV型の9割近くの感染を予防できます⁽¹⁾。

1) Int J Cancer.2006;2713-2715 Int J Cancer. 2006; 2713-2715.Int J Cancer. 2006; 278-285.

子宮頸がんの原因HPV型



HPVワクチンについて、わかりやすく詳しく解説しています→ [みんなパピ!](#) [検索](#)

ワクチン接種後に起こりうる症状

はれ、痛み(局所反応)

ワクチン接種に伴い、接種した場所に起こる炎症。多くは数日以内に改善します。

アナフィラキシー

接種後にじんましんや咳等のアナフィラキシー症状が起こるのは約96万回に1回。接種後30分間は病院で安静に。

接種後ストレス関連反応 (ISRR)

接種に対する不安や注射の痛み等のストレスをきっかけに、気分不良や失神など様々な症状が生じる反応です⁽²⁾。他の予防接種でも起こる反応ですが、思春期に起こりやすいという特徴があるので、対象年齢のお子さんは注意が必要です。注射前に緊張していたり、以前注射で気分が悪くなったことがある方は、ベッドに横になって接種するなどの対策が有効です。また保護者や本人が事前しっかりと説明を受け、納得してから接種することもこうした症状の予防につながる事が分かっています⁽³⁾。



(2) WHO. Immunization stress-related responses manual. 2019 Dec 20 (3) Taddio A, et al. Cmaj. 2015. 187(13): 975-982

そもそも…

子宮頸がんって？

女性の子宮の入り口付近にできる「がん」で、日本では20～40代の女性を中心に毎年約1万人が新たに子宮頸がんと診断され、年間約3,000人が亡くなっています。また、子宮頸がん患者の9割近くで子宮摘出等の手術や抗がん剤治療が必要になり、子どもを産むことができなくなる方も少なくありません。

子宮頸がんの95%以上がヒトパピローマウイルス (HPV) の感染によるもので、17歳未満でHPVワクチンを接種すると子宮頸がんの88%を防ぐことが報告されています*。

接種した人も20歳をすぎたら子宮頸がん検診を受けましょう。

* N Engl J Med 2020; 383:1340-1348.



約8割の女性が一度はHPVに感染

年間約1万人が新たに診断

20～40代女性に多い

検診では異常が出てからしか見つけられません



女性の8割



検診とワクチン
両方大事

ワクチンを接種するには？

1997～2007年度生まれの女性

HPVワクチンは定期接種として、小学6年生から高校1年生の女子は無料で接種できます。1997～2007年度生まれの女性は2024年度まで特例で無料接種可能です。

2023年4月から9価ワクチンが定期接種となりました。従来の2・4価と比べても安全性に大きな違いはありません。9価ワクチンを受ける方は、15歳の誕生日までに1回目の接種を済ませた場合、接種回数は2回になります。



接種の手順

1



自治体ホームページ等でHPVワクチンの予診票の受け取り方を確認。

2



医療機関に電話をしワクチン接種の申し込み。

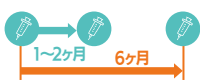
3



当日は医療機関から指示された書類を持参して受診。(予診票、母子健康手帳、健康保険証等)

接種間隔

9 価
15歳以上
4 価
2 価



9 価
15歳未満



接種後に体調を崩したら

もし接種後に気になる症状がある場合は、接種した病院や周りの大人に遠慮せずに相談しましょう。

相談してね!



HPV感染症に関する正確な知識を伝え、皆様の健康増進に寄与することを目指しています。

みんなパピ!

みんなパピ! HPV

みんなパピ!

検索



2023年4月作成

